UTSUNOMIYA CONSTRUCTION WORKERS'

# けんせつ字都宮

vol. 313
2018



2)

# 優良建設工事表彰

平成30年度の栃木県優良建設工事ならびに宇都宮市優良建設工事の受賞に伴い、当該工事を担当した現場代理人および主任(監理)技術者に対して、去る10月9日、建設産業会館においてその功績と栄誉を称えた表彰式が行われた。(一社)宇都宮建設業協会からの表彰対象となった優良工事は以下のとおり。なお、表彰式には会員約80名の参



加のほか、中島堯男 栃木県県土整備部 事兼宇都宮土木事 所長、桜井鉄也宇 宮市上下水道事 理者をはじめとして、 栃木県および宇都宮 市から多数の来賓が 出席した。

#### ◆栃木県知事表彰 5社

- 大幹建設株式会社 総合スポーツゾーンサッカー・ラグビー場改修工事その1
- 山本建設株式会社 橋梁下部工事119号その6(快安道補)
- ●中村土建株式会社 上都賀庁舎新築工事
- 藤井産業株式会社 (鬼水・鬼工水)取水場変電設備等更新工事
- 渡辺建設株式会社 (鬼水・鬼工水) 天日乾燥床増設工事

#### ◆栃木県宇都宮土木事務所 所長表彰 8社

- 株式会社入江組 道路改良工事121号環状南その3(快安道補)
- 岩原産業株式会社 道路改良工事総合スポーツゾーン西進入路その3(県単GSZ)
- ●宇都宮土建工業株式会社 橋梁下部工事119号その3 (快安道補)
- 株式会社カクタ技建 道路改良工事121号環状南その4(快安道補)
- 株式会社菊地組 道路改良工事408号宇都宮高根沢BPその17(快安道補)

## 受賞された方々のあいさつ

#### 上都賀庁舎新築工事

#### 中村土建株式会社 齋藤央行

この工事は、老朽化した既存上都賀庁舎及び上都賀農業振興事務所を、上都賀庁舎敷地内に集約して建て替えるというものでした。既存の上都賀庁舎は、市街地にありながらも鹿沼市役所とも近接していましたが、上都賀農業振興事務所は別の場所に建てられており、これらの建物は老朽化や耐震性不足、防災拠点としての対応やバリアフリーへの対応が難しいなどの問題を抱えていました。そのような状況から、施設の安全性確保及び2つの庁舎集約による土地の高度利用、利便性の向上等を図る拠点施設として計画されたものです。

『同敷地内での現地建て替え』ですので、作業エリアは非常に狭隘であり、既存庁舎も運営しているすぐ横での作業でした。作業場所に限りがありますので、3棟ほどの付属棟をはじめ、渡り廊下や自転車置き場などの建物群をすべて同時に施工することはできません。安全管理はもちろんのこと、工程管理についても特に入念に計画しました。ある建物は基礎工事まで完了したのち、埋戻し後に全面敷き鉄板を行い、本館棟躯体工事のための搬入ルート、荷捌き、資材スペースとして利用しました。揚重機の設置場所にも余裕がないため、躯体工事中はタワークレーンを設置して対応しました。また、工事の出入口が、既存庁舎の出入口を共用する形でしたので、搬入車両の通行制限や時間帯制限を設けるとともに、工事看板や案内看板類も親しみやすく、分かりやすいものを作成し、第三者の方に、タイムリーな情報提供を行うことを心がけました。

様々な制約の中で苦労することもありましたが、工期内に無事完成することができ、発注関係者様をはじめ、工事に携わっていただいた協力業者の皆様、ご理解ご協力をいただいた近隣住民の皆様に、心より感謝いたします。今後ともより良い構築物の提供と地域に愛される企業を目指し、まい進いたします。



## 橋梁下部工事119号その6 (快安道補)

#### 山本建設株式会社 渡沼信夫



本工事は、宇都宮環状道路(宮環)の北部区間を構成している宇都宮環状北道路(国道119号)の上戸祭工区立体 化に伴う橋脚工事(P3橋脚)でした。

今回施工しました橋脚は環状道路外回り車線に位置するため、外回り2車線を北側に迂回させてからの工事でした。 現場の交通量は40,000台/日を超え、県内でも有数の交通量がある区間で、現場周辺は交差点を先頭に著しい渋滞 が発生しています。

本工事のP3橋脚は車道との離隔が少なく、外回り内回りとも2車線を確保した施工と第三者災害の防止及び工期内完成が重要な課題でした。

工事は3橋脚同時発注となり、各工区とも作業ヤードが狭く輻輳するため、仮設防護柵・作業ヤード・工事車両出 入口及び交通誘導員は3工区共用し、工程・工事車両の配置等においても日々調整を行いました。

環状北道路の外回り・内回りとも2車線を確保した施工を行うため、底版部における土留仮締切工の位置を内側に0.9m移動し、ゼロスペースにて施工を行いました。

梁部の鉄筋組立時には、主筋を環状道路から差し込むことができないため、吊荷が環状道路に出ないよう鉄筋を短くし接続には機械接手を用い、通行車両の安全と2車線通行を確保しました。

P3橋脚は柱の形状が円形であり、柱部と梁部の鉄筋がお互いに干渉し、組立に通常の3倍程度日数を要するため、経験のある鉄筋工を配置し事前対策を行い、無事故無災害で工期内に完成することができました。

工事施工にあたり、ご協力いただきました地域の皆様、ご指導いただきました監督職員の皆様、ご尽力いただきました各工区の皆様には心より感謝申し上げます。

今回の受賞を励みにこれからもなお一層の研鑚を重ね、安全の確保、地域・環境への配慮、品質の向上に努め、地域社会に貢献していきたいと思います。



●小平興業株式会社

道路改良工事408号宇都宮高根沢BPその13 (快安道補)

●晋豊建設株式会社

道路改良工事総合スポーツゾーン西進入路その1(県単GSZ)

●株式会計増渕組

橋梁下部工事119号その2(快安道補)

#### ◆宇都宮市優良建設工事表彰 12社

- 宇都宮土建工業株式会社 都市基盤河川奈坪川改修工事(流出水路)
- ●渡辺建設株式会社 都市基盤河川奈坪川改修工事第4工区
- 株式会社増渕組 松田新田浄水場導水管耐震化整備工事
- 晋豊建設株式会社 橋梁耐震補強工事(中島橋)
- 大幹建設株式会社 準用河川大久保谷地川バイパス築造工事(分割2号)
- 増渕・渡辺建設共同企業体 公共下水道築造工事第1工区
- 増渕・日豊建設共同企業体 道路築造工事(市道6416号線)
- ●渡辺建設株式会社

松田新田浄水場導水管耐震化整備工事第1号

●株式会社増渕組

松田新田浄水場導水管耐震化整備工事第2号

●株式会社増渕組

橋梁工事(下部工)分割3号(市道5340号線)

●中村土建株式会社

準用河川大久保谷地川バイパス築造工事(分割2号)

- ●渡辺建設株式会社 配水管更新工事第3号
- ●有限会社田重建設 橋梁維持修繕工事(2893-1号橋)
- 株式会社睦工業 清原中央公園体育館副競技場外壁改修工事
- ●山本建設株式会社 道路修繕工事(舗装修繕)
- ●晋豊建設株式会社 道路修繕工事(舗装修繕)
- ◆大幹建設株式会社 道路修繕工事(舗装修繕)
- ▶上河内建設株式会社 都市計画道路舗装工事(分割5号)
- 大幹建設株式会社準用河川新川江曽島調整池築造工事
- 清水造園株式会社 白沢公園木道・水車改修工事





#### 清原中央公園体育館副競技場外壁改修工事

#### 株式会社睦工業 伊澤昌司



このたび、宇都宮市優良建設工事建築部門での表彰を戴けましたことを、大変光栄に思っております。

『清原中央公園体育館副競技場外壁改修工事』は、公園の真ん中に位置する副競技場の外壁のタイルの色調を保持保護し、タイルの剥離落下を防止する改修工事でした。現場に揚げた品質目標は、「技術力と想像力の向上に努め、地域社会に貢献する建物を保持する」でした。公園は、宇都宮市の東端にある清原工業団地のほぼ真ん中にある運動公園であります。また、公園には、体育館、野球場、テニスコート、芝生広場、子供遊び広場等があり、本格的な運動を行う施設から家族連れでピクニックなどを

楽しめる場所になっています。そのため、公園は勿論、副競技場内部も常時、使用している状態での工事となりましたので、安全・騒音・振動等には格段の配慮をし、施設管理職員の皆様ならびに使用者の方々とのコミュニケーションを大事にし、作業の工程を円滑にしました。また、1日に2回以上の現場周辺の安全パトロールを行いながら、来館者の方には丁寧に御説明し、安全安心に楽しんでいただけるよう心掛けました。

このように無事故無災害で計画どおりに完成できましたのは、御指導いただきました監督職員の皆様、御協力いただきました管理職員の皆様、地域の皆様、また関係機関の皆様、当工事に携わった協力業者の皆様の御支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後とも、本受賞を励みに環境・安全への配慮や、より一層の品質・技術の向上に努め、地域社会に貢献できる建設業界を目指してまいります。

### 準用河川大久保谷地川バイパス築造工事(分割2号)

#### 大幹建設株式会社 古口典之

この度、宇都宮市優良建設工事に選ばれまして大変光栄に思っております。

本工事は、宇都宮市下栗町地内における準用河川大久保谷地川の河川バイパスの整備工事で、市道1168号線を通行止めにして仮設道路で迂回させ、市道部分にゼロスペース工法(掘削幅縮小工法)、硬質地盤クリア工法(鋼矢板圧入)で、現場打ちボックスカルバート(延長72m 内空断面W3.1m×H3.1m)を構築する工事でした。

ゼロスペース工法には外型枠がないために、十分な内壁型枠、型枠支保工の計画が必要になりました。また、硬質地盤クリア工法では、鋼矢板圧入の精度が構造物の仕上りに影響を与えるので圧入時の変位対策についてオペレータと打合わせを行いました。

工事箇所沿いの会社の敷地を横断する形で現場車両、従業員等の出入りを確保しなければなりませんでした。そのため挨拶時に工事の内容説明のほか、車両の出入り等の説明、相手方の要望を確認し、入口には出入口が明確に分かるように専用の看板、夜間照明を設置しました。日中は交通誘導員を配置して車両等の誘導、出入り時には作業を中断し、入口箇所の施工時には専用の仮駐車場を設置して、出入り通路と工事作業帯を明確に仕切り、出入りの安全確保、会社業務に支障が出ない措置を行いました。

また、経営者、従業員が外国人の会社があったので、毎日職員や作業員が会社の人とコミュニケーションをとり、内容が理解できないような時には、イラストや写真、実際に作業を見せて説明をし、十分な理解と協力が得られました。

最後に、工事を施工するに当たりご指導いただきました監督職員の皆様、ご協力いただきました地域の皆様、関係機関の皆様、隣接施工会社の皆様、協力会社の皆様には、心より感謝申し上げます。今後も品質、技術の向上に努め、環境、安全への配慮を行い地域社会に貢献していきたいと思います。



# 災害情報 伝達訓練

# 有事に備え精度高める 県・市との連携を強化

2018.9.12

宇都宮建設業協会は9月12

日、道路河川等管理情報システムを活用して県・市と合同による災害情報伝達訓練を行った。

道路河川等管理情報システムは、県建設業協会が開発したもので、県をはじめとする自治体も活用。システムからの情報は発注機関のパソコンとの共有が可能で、パトロールを行った担当者が携帯電話で撮影した写真や動画を送信、ファイルには撮影位置、日付、状況説明が添付され、情報を一元的に把握でき、同時多発的な状況の中でも適切な優先順位や応急対策を選定する際の大きな判断材料となり、県・市と宇都宮建設業協会ではシステムを使った情報訓練を毎年行っている。

訓練は、災害活動をより迅速、効率的に遂行できる能力を培うために実施し、宇都宮土木事務所からは中島堯男県土整備部参事兼所長をはじめ9名、宇都宮市からは職員6名が参加した。訓練開始にあたって増渕会長は「宇建協は宇都宮市、県と災害協定を締結している。異常気象の緊急出動や応急復旧工事などに対し、協会が持つ機動力、組織力を発揮して市民の皆さん、そして公共施設を守っていく使命がある。官民が一体となって実践的な訓練を通じ情報伝達の精度を高めたい」とあいさつ。

中島所長は「これまでの災害を通して、日ごろからの備えと適正かつ迅速な初動対応、災害経験を永く伝承していくことが大切だという3つの教訓を得た。訓練で官民双方の連携強化と迅速な情報共有を図っていきたい」と述べた。





訓練では台風が接近し大雨洪水警報が発令されたと想定。宇建協会長、副会長、建設委員が集まり、災害対策本部が設置された。中島所長から管内の現況報告を依頼された増渕会長は、会員各社へのパトロールとシステムによる現場の情報送信を荒井学建設委員長に要請。本部の建設委員に会員への連絡を指示した。【宇建協では宇都宮市と上三川町を7ブロックに分け、建設委員が統括する形でシステムを活用している。】

その後、各社の担当者から送信された国道や県道、主要な河川橋梁等の写真や動画を県や市の職員が確認し、システムを使って指示を行った。実態に即した訓練にするため、宇都宮土木事務所では事務所内に職員を待機させて遠隔での指示も行った。

訓練後の講評で中島所長は「訓練の経験が万一の災害の対応に生かせるよう願う」と語るとともに、訓練を準備した宇都宮建設業協会に感謝の意を表した。

(佐々木)



# 愛リバーとちぎ 河川清掃活動

# 川の日・田川クリーンアップ大作戦

2018.9.21

9月21日に(一社)宇都宮建設業協会は「愛リバーとちぎ第4回河川清掃活動」を参加協力会社26社と共に実施いたしました。

当日はあいにくの雨模様となりましたが、末永委員 長の挨拶の後に参加者は押切橋両岸から幸橋両岸まで と、旭陵橋下流左岸も含めて作業を開始しました。

除草と集草運搬が主な作業となり、雨天ということ もあって普段より手間取り、時間も掛かりましたが、 人力により積込み作業を進め、同時にペットボトルや 空き缶をはじめとした各種のゴミの回収にも汗を流しました。

今年は大雨による増水での遊歩道への浸水が幸いに も少なかったために大きなゴミは少なかったですが、 まだまだ空き缶や今問題となっているプラスチック 類、ビニール類が落ちていました。

これからも美しい河川環境を維持するために活動を 継続していきたいと思います。

(船見)







# 宇都宮市 総合 防災訓練

# 「平成30年度総合防災訓練」 2018.8.18 🗈

8月18日、宇都宮市による 平成30年度宇都宮市総合防災 訓練が市立陽南小学校にて開 催された。

訓練は市南部を震源とする震度7の直下型地震が発生し、甚大な被害が発生しているという想定で、地区住民や防災関係機関等79団体、約2,500人が参加し、より実践



的な訓練が行われた。宇都宮建設業協会からは建設委員 12名が訓練に参加し、陸上自衛隊による要救助者救出が 行われた後、木造倒壊家屋の除去作業を担当し、ユニッ ククレーンによる迅速な作業を行った。

(阿久津)



# 合同パトロール

2018.10.10

# 「全員が笑顔で新年を迎えられますように」

10月10日、晴天の中、第331回 安全パトロールを実施しました。

当日は、お忙しい中、宇都宮労働基準監督署から堀澤 署長並びに斎藤安全衛生課長、発注者から県土整備部江 口検査監、宇都宮土木事務所建設技術調整課中島部長補 佐、宇都宮市上下水道局技術監理室大沼検査監、建災防 栃木県支部橋爪理事兼事務局長、芳賀分会植田運営委員 長、松本副運営委員長、そして建災防栃木県支部教育部 長・宇都宮支部安全指導者・店社安全管理責任者を含

め、計45名が参加されまし

朝礼で堀澤署長より「労 災発生状況が月を追うごと に増えている。今までの減 少傾向から増加に転じてい

る」旨の注意喚起がありました。

パトロールは昼食をはさみ土木3現場、建築1現場を 巡視した後、宇建協に戻り講評という日程で行われまし

講評では、良い評価として「どの現場もきれいに整理 整頓されている」「最新の足場形態が利用され、安全意 識が高い」とし、改良点として「作業手順計画がない」 「安全巡視資料にコメントがない」「現場内に作業員の ための休憩所がない」等の提言がありました。

最後に堀澤署長は「全員が笑顔で新年を迎えられます ように」とのお言葉で締めくくられました。

なお、実施されたパトロールの現場は、次のとおり。

- 道路修繕工事(雨水管修繕) (有)菊地建材工業
- 道路改良工事408号宇都宮高根沢BPその18 ㈱永神工業
- ●一般国道408号清南大地高架橋鋼橋上部工建設工事 川田・東鋼特定建設工事共同企業体
- ■陽南中学校校舎外壁改修工事 柴田建設(株)

(若林)



# 平成30年度建災防栃木県支部 2018.9.14@ 安全衛生大会・セミナー開催

平成30年度建災防栃木県支部 安全衛生大会・安全衛生セミ

ナーが9月14日、宇都宮市文化会館で開催されました。 国や県、労働基準監督署や関係機関の来賓、また10分 会から多数の会員が出席しました。「墜落・転落」「重 機」災害の不安全行動の防止などを主とする大会宣言、 労働災害防止に向けた決意表明を行いました。



冒頭、建設業労働災害防 止協会栃木県支部の渡邉支 部長より「今年度から5年 間で死亡労働災害を減らす 目標を掲げた労働災害防止 計画がスタートする。」な

ど、労働災害防止や安全衛生水準向上のための事業への

積極的な参加を呼びかけまし た。

その後、功績賞などの表彰 式、御来賓のあいさつ、安全 衛生セミナーを行いました。 (亀和田)







# 「第2回LRT研修会」

2018.10.22

# ~雷都を未来へ~

宇都宮建設事業協同組合(増 渕薫理事長)は10月22日、県建設 産業会館において第2回LRT研

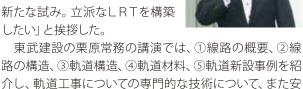
修会を開催した。組合員や市建設産業団体連絡協議会(同会長)会員、宇都宮市の職員ら約100人が参加し、東武建設(㈱の栗原利夫常務取締役が「軌道構造と軌道新設」について講演した。

研修会の冒頭、増渕理事長から「我々はLRTの各施設や軌道施設整備の経験は皆無に等しい。工事に必要な知識や情報が不足しており、極めて重要な研修会。各工区の工事が順次発注され、我々の仲間が数多く受注できるよう専門的な知識を深めたい」と挨拶。来賓の挨拶では、今井正久市LRT整備課長が「LRTは、市が目指すネットワーク型コンパクトシティ実現に欠かせない重要な装置。建設

業者と力を合わせ素晴らしいLRTを造っていきたい」と述べた。中尾正俊宇都宮ライトレール㈱常務取締役は「458億円規模を投資し、



軌道全線15kmを新設する事業は 百数十年ぶりの大事業。運行は会 社、整備は市が担当するという上 下分離方式は国交省指導による 新たな試み。立派なLRTを構築 したい」と挨拶した。



LRT (次世代型路面電車システム) とは、「Light Rail Transit」の略称で、各種交通との連携、低床式車両の活用や軌道・停留場の改良による乗降の容易性などの面で優れた特徴がある次世代型の交通システムのことである。

全管理の重要性についてご教示いただいた。

宇都宮市のLRT事業は、宇都宮市、芳賀町、宇都宮ライトレールの共同事業。先行区間として宇都宮駅から東に延びる区間 (14.6km) が着工し、2022年春の開業を予定している。宇都宮建設事業協同組合では、継続的な研修会や部門別の勉強会・既存LRT施設の視察を実施し、地域に貢献する地元企業として宇都宮の未来を担うLRT事業の中心的な役割を果たしていく。 (手塚)

# 平成30年度建設業災害防止 安全対策セミナー

2018.10.23

建設業労働災害防止協会栃木県支部宇都宮分会(増渕薫分会

長)は10月23日、とちぎ福祉プラザにおいて平成30年 度建設災害防止安全対策セミナーを開催した。

セミナーは冒頭、増渕分会長の挨拶に始まり、宇都宮 労働基準監督署・堀澤俊孝署長、栃木県宇都宮土木事務 所・中島堯男所長、宇都宮市建設部・飯塚由貴雄部長、 建災防栃木県支部・渡邉勇雄支部長からの来賓挨拶のあ と、宇都宮建設業青年の会・庭野宏隆会長による労働災 害撲滅に向けての決意表明があった。

安全衛生の講話は、宇都宮労働基準監督署・斎藤敏男 安全衛生課長から「建設業における労働災害の現状と対 策」について、宇都宮中央警察署・酒巻祐交通総務課長 から「交通安全について」といただいたあと、日本健康 財団・小熊理恵さんの労働災害防止のためのリフレッシュ体操で参加者全員気持ちを新たにした。その後、建 災防栃木県支部・橋爪良行理事兼事務局長から「建設業 が抱える労働災害防止上の主な課題」についての講話で 閉められた。

セミナーには会員各社より160名の参加があり、安全 衛生に関する講話を熱心に聴講していた。

(岩原)





# 青年の会 活動報告

## 愛の献血活動

2018.8.28

8月28日、青年の会の社会貢献活動とイメージ アップの一環として行われている、愛の献血活動を 日本赤十字社のご協力のもと建設産業会館で実施し ました。

会員企業への呼びかけにより、43名の方からご協力をいただくことができました。青年の会では、献血活動の推進にあたり長年の活動実績が認められ、





平成26年には厚生労働大臣から感謝状もいただいています。

大きな事故などで輸血をするイメージがありますが、実はがんの治療で使われることが多いそうです。日本人の二人に一人はがんになると言われています。輸血用の血液が誰の血液なのかは知る余地もありませんが、献血者の優しさや人を思いやる気持ちがたくさん詰まっていると、輸血を受けた方々は

感謝の気持ちでいっぱいだそうです。私たち一人ひとりが献血活動に参加することにより、たくさんの命が救われます。今後も青年の会の大事な事業の一環として献血活動を行っていかなければならないと感じています。

(渡邉)

# 宇都宮土木事務所と宇都宮建設業青年の会による 意見交換会 2

2018.8.29

宇都宮土木事務所と宇都宮建設業青年の会は8月29日、県河内庁舎で若手監督員と若手現場代理人の意見交換会を開催しました。青年の会の庭野会長や宇都宮土木事務所の佐野次長兼企画調査部長らも出席し、監督員14人と現場代理人13人が3グループに分かれ、お互いに業務上苦労していること、業務改善の提案について、魅力ある建設業の職場環境についてなどをグループディスカッションし大変有意義な意見交換会となりました。

#### 主な意見の抜粋・・・・・・

#### <業務上苦労している内容について>

- ・慢性的な人手不足。若年層も増えず、下請け業者も 減ってきている中での一人当たりの業務時間(残 業)の増加。
- ・電気、水道、ガス、電柱等のライフラインの移設待ちがあり、工程の調整に苦労する。
- ・設計書と現地条件の相違。それに伴う 資料作成や調整。
- ・現場で問題や課題が生じたときに、積 極的な提案とそれに伴う早い返答。

#### <業務改善の提案について>

- ・人材の確保。若手職員が離職しないような現場環境 の構築。
- ・受注後の三者会議の実施。発注者、受注者とコンサル、関係機関等。
- ・変更契約時のスムーズな内容変更等の作成。
- ·新工法 (ICT等) の見学会、勉強会の実施。

#### <魅力ある建設業の職場環境について>

- ・自分の時間が作れる余裕のある勤務時間、休日、賃 金の確保。
- ・若年層の技術者が、同年代の技術者と勉強会、親睦 会などの交流の場をもち、話し合うことができるよう な仕組みを業界で作っていく。
- ・ものづくりの魅力発信や、3 K 等の悪いイメージを払 拭できるようなアピールを行っていく。







#### youth

# 若人

わこうど

# 「建設業界の労働人口の減少」

株式会社暁工務店 統括取締役 増渕 遼



この度は「けんせつ宇都宮」への寄稿の機会をいただきまして、 誠にありがとうございます。

宇都宮建設業青年の会に入会させていただきました株式会社暁工 務店統括取締役を務めております、 増渕遼と申します。

若輩者ではありますが、皆様、どうぞよろしくお願い いたします。

さて、今回はこれからの建設業界の労働人口の減少について私なりに思うことをお話しさせていただきます。

工事現場で稼働する職人、そしてその職人をマネジメントする技術者、どちらも足りておりません。

また、人手不足によって職人の労務費は上昇し続け、 建設コストの増加にもつながっています。その結果、コ スト圧迫によって開発計画が頓挫する事例も多く見られ ます。

どうして人が足りなくなっていくのか?深刻な人手不足の理由は「若年層の建設業在職者が減っている」「リーマンショック後の建設需要激減で離れた職人が戻ってこない」の2点です。

まずひとつは若年層の建設業在職者の減少です。若手 の職人、監督が業界を離れる。高齢化が進む一方で、若 手が増えていかない。これは建設業界に3Kのイメージがついている、福利厚生の徹底がされていないといったことと無関係ではないと思います。

ふたつめは「リーマンショック」です。国内の建設需要は 激減しました。仕事のなくなった職人たちの多くは、他産業 への転職か、退職という道を選びました。その後、景気回復 とともに建設需要も回復してきた一方で、職人の数は減り続 けております。需要に対して労働力が確保できない「人手不 足」の状態が続いています。

建設業界は一丸となってこれらの課題に取り組んでいますが、自社でもできる改善の取り組みは必要だと思います。私の考える人手不足を解消する取り組みは「雇用促進」「待遇改善」です。雇用促進は若年層に建設業に触れる機会を増やし3Kのイメージを払拭し、建設業への理解を深める。待遇改善は長時間労働、低い給与水準、福利厚生の不足といった待遇の改善が必要だと思います。

様々な課題があると思いますが、ひとつひとつ改善をしていけば問題を解決できるのではないかと思います。

先輩方のお力をお借りしながらではございますが、建築業界の様々な問題と発展に尽力し、より一層盛り上げていけましたら幸いです。

精一杯努力してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

#### youth

# 若人

# 」 「一級建築士」



この度「けんせつ宇都宮」への寄稿の機会をいただきありがとうございます。

本年度より宇都宮建設業青年の 会に入会させていただきました柴田 建設株式会社工事部の柴田洋輔と 申します。皆様どうぞよろしくお願い

いたします。

近年、資格者不足の建設業界で、特に若手の一級建築士 不足が大きな問題となっております。

建築施工に携わる我々は一級建築施工管理技士の資格を持っていれば官庁工事等が問題なく施工できます。しかし、建築に携わる以上は一級建築士の資格を取得し、設計事務所と同じ知識で施工を行うためにも一級建築士資格取得が重要視されます。

特に建築士の高齢化が進み、建築士事務所に所属する 一級建築士約14万人のうち、50歳以上が6割以上を占めて おります。建築士受験申込者も減少しており、一級建築士

#### 柴田建設株式会社 工事部 柴田 洋輔

の学科受験者は最近の10年間で約4割減っております。地域の発展、そして日本全体の成長力であるインフラ整備を支えるためにも若い世代が建設業界に入る環境を整える必要があります。

今後の法改正により受験資格の実務経験の範囲拡大、また 実務経験を名簿登録時に課すこと、学科試験合格者は製図試 験を何度でも受験できる、CADによる試験の導入などが検討 されて取得しやすくなるようです。しかし、取得への道は厳しく 困難です。いわゆる受験産業の学校へ入学しなければ合格はで きないといわれています。お金も時間も必要になっております。 各会社で受験者への優遇措置をとらない以上なかなか合格は 難しいようです。と、書いている私自身もまだ一級建築士試験に 合格していないので、法改正にも期待しつつ頑張りたいと思っ ています。法施行は早くてH32年ぐらいといわれておりますが、 ぜひ各会社様の受験者へのサポートをよろしくお願いします。

これからも会員の皆様と切磋琢磨し、地域社会の発展に寄与してまいりたいと考えております。今後もなお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

#### youth

# 若人

# 「建設業の強さ

#### 株式会社清水造園 工事部 清水 一樹



株式会社清水造園の清水一樹と 申します。本年度より、宇都宮建 設業青年の会に入会させていただ きました。何卒ご指導ご鞭撻のほ ど、よろしくお願いを申し上げま す。

弊社は土木建設業を事業における重要な柱と位置付け、土木的要

素が不可欠である庭園・公園工事等で培った、祖業造園 業での長年の実績とノウハウを活用することで、地域の 社会資本を造り、それを維持し、市民県民の生活に貢献 できる企業を目指して鋭意努力を続けております。宇都 宮建設業協会の会員各社様におかれましては、日々ご指 導、ご支援、ご協力いただいておりますことを、改めて 厚く御礼申し上げます。

「土木工事」と「造園工事」のそれぞれの特徴について、しばしば「正確さ」と「センス」のどちらに判断の機軸を置くか、その違いであると捉えられることがあります。定められた寸法数量の達成によって生みだされる土木工事の「実用の美」に対し、自然物の状態に合わせ

たフィーリングが求められる造園工事。同じ一本の道を造る にも、平坦性や歩きやすさを重視するのか、景色の良さと歩 く面白さを追求するのか、そのような違いともいえるでしょ う。

もちろん大切なのはそれらを両立することで、よりよい成果を生み出すことですが、どちらにも共通する本質的な目標を忘れることはできません。それは当たり前のようなことではありますが、「人々が喜んでくれるものを造る」という大原則ではないでしょうか。

日々利用するその道が走りやすくなり、「いいな」という 喜びの声があがる。そのような何気ない、しかし間違いなく 人々の役に立っているという実感こそ、建設業の強さである と思います。確実に市民県民のためになるインフラストラク チャーを提供し、目に見える「もの」としての財産を生み出 す力、その力を再認識し、しっかりと訴えていくということ が、いま改めて求められているのだと思います。

微力というにもおこがましい私ではございますが、市民生活の向上と業界の発展の一助となるべく邁進していきたいと存じます。今後ともご指導のほど、何卒よろしくお願いを申し上げます。

# 団体戦進優勝

#### **栃建協オーナーズゴルフ大会開催** 2018.10/11





10月11日、芳賀カントリークラブにおいて、第41回栃木県建設業協会オーナーズゴルフ大会が開催されました。

3年ぶりの優勝を目指した団体戦は惜しくも準優勝。優勝は芳賀支部でした。個人戦では、神吉工業㈱吉沼社長が準優勝に輝きました。次回のオーナーズゴルフは宇都宮支部が担当になります。優勝できるよう頑張ります。

団体戦の結果は次のとおり



優 勝 芳賀支部



勝字都宮支部



三 位 下都賀支部

(手塚)

# 労働保険適用促進強化期間 11/1~11/30

## 『労働保険に入っていない会社に、人は集まるでしょうか。』

労働者が安心して働けるよう「労働保険(労災保険・雇用保険)」の加入手続をされていない事業主の方は、労働基準監督署又は公共職業安定所で加入手続をしてください。

詳しくは、最寄りの労働基準監督署又は公共職業安定所にお尋ねください。

栃木労働局総務部労働保険徴収室 TEL 028-634-9113



総務委員長として始めて編集する本号が発行に漕ぎつける ことができ、で協力いただいた皆さんに感謝します。青年の 会では、庭野会長の尽力で今年度4名の仲間が増えました。 早速3名の「若人」に登場していただき、今思う熱い気持ち を伝えていただきました。育った地域、学んだ学校、所属し たクラブ活動や趣味など、皆さん多種多様な経験を積んできたことと思いますが、「地域社会の発展」「建設業の発展」等、年代は違うけれども我々と建設業を良くしたい!という気持ちに変わりはないと感じたvol.313号でした。

(渡邉)

けんせつ 宇 都 宮 ■1981年7月創刊

2018年11月15日発行

■発 行:一般社団法人宇都宮建設業協会

■編 集:総務委員長 渡邉 幸雄 ■TEL:028-636-5221

URL: http://www.ukenkyo.org/ E-mail: ukenkyo@ukenkyo.org



